



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社PLANT

コード番号 7646 URL <http://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ツ田 勝規

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室長兼管理本部長 (氏名) 松田 恭和 TEL 0776-72-0300

四半期報告書提出予定日 平成28年5月2日

配当支払開始予定日

平成28年5月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年9月21日～平成28年3月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	43,168	2.7	1,306	△4.9	1,335	△5.1	887	△0.6
27年9月期第2四半期	42,015	4.9	1,373	△3.7	1,407	△4.3	893	1.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	111.22	—
27年9月期第2四半期	111.94	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	37,849		14,945		39.5	
27年9月期	39,504		14,202		36.0	

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 14,945百万円 27年9月期 14,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28年9月期	—	19.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年9月21日～平成28年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,700	1.9	2,600	△7.0	2,700	△5.7	1,600	△7.6	200.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	7,980,000 株	27年9月期	7,980,000 株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	196 株	27年9月期	196 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	7,979,804 株	27年9月期2Q	7,979,804 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績の予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとした新興国経済の減速、原油価格の低迷による資源国経済の減速、また、日銀によるマイナス金利の導入等の影響もあり、依然として景気、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、大都市圏においては富裕層による高額品の需要増や、円安を背景とした訪日外国人による大量消費が一部ではみられるものの、全体的には一昨年の消費増税以降は、日々の買い物には慎重で節約志向は依然として根強く、激しい価格競争が続いております。

このような状況のもと、当社では中長期経営方針である「スーパーセンター業態の社会的認知の実現」を遂行すべく、当事業年度より、「企業規模拡大」「店舗運営力向上」「商品力向上」3つの成長戦略を掲げ取り組みを行っております。

「企業規模拡大」では今後7年間で30店舗の出店に向けて、主に若手と女性幹部社員の増強をはじめとする「戦える組織」に大きく変更を行いました。

「店舗運営力向上」では「接客」「クリンリネス」「防犯」「武器」「販促企画力」「商人力」をキーワードとし、とりわけ「接客」では全店舗に接客トレーナーを配置しての接客の質の向上、また「武器」では鮮魚対面売場前に人員を配置してお客様への対話を通じた商品提案による客数アップを図ってまいりました。

「商品力向上」では、前事業年度までに、瑞穂店、横越店、境港店において従来の家庭用品売場を「キッチン」「リビング」の生活シーン別の売場に、また当第2四半期までに大玉店、見附店において「キッチン」「リビング」「トラベル」「ビジネス」「ワーク」の生活シーン別の売場に改装し、より女性・主婦目線を意識した品揃えに変更いたしました。尚、これらの改装は、今後他店においても、順次行ってまいります。また当社設立35周年を記念した特別増量商品、特別価格商品も数多く展開しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、昨年同時期の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあったものの、当社の武器である惣菜や精肉など生鮮部門が好調に推移し、売上高が43,168百万円(前年同四半期比2.7%増)、売上総利益は8,569百万円(前年同四半期比1.9%増)、営業利益は1,306百万円(前年同四半期比4.9%減)、経常利益は1,335百万円(前年同四半期比5.1%減)及び四半期純利益は887百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1,654百万円減少し、37,849百万円となりました。これは主に現金及び預金が989百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ2,397百万円減少し、22,904百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が849百万円、長期借入金が845百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ742百万円増加し、14,945百万円となりました。これは主に四半期純利益が887百万円となり、剰余金の配当が143百万円となったことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ989百万円減少し、7,233百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は108百万円(前年同四半期は69百万円の使用)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1,343百万円があった一方、仕入債務の減少額824百万円、法人税等の支払額556百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は10百万円(前年同四半期は652百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得38百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,086百万円(前年同四半期は65百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出845百万円があったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で平成27年10月30日公表の予想に変更はありません。上記予想は本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年9月20日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,348	8,358
売掛金	445	403
商品	7,363	7,370
その他	796	570
流動資産合計	17,955	16,703
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,991	8,753
土地	5,424	5,424
その他(純額)	1,771	1,661
有形固定資産合計	16,188	15,839
無形固定資産	1,233	1,219
投資その他の資産	4,127	4,087
固定資産合計	21,549	21,146
資産合計	39,504	37,849
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,738	5,888
電子記録債務	788	814
1年内返済予定の長期借入金	1,691	1,691
未払法人税等	588	441
賞与引当金	461	330
その他	2,094	1,724
流動負債合計	12,363	10,890
固定負債		
長期借入金	7,510	6,664
退職給付引当金	1,083	1,131
資産除去債務	2,282	2,302
その他	2,062	1,916
固定負債合計	12,938	12,013
負債合計	25,301	22,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,358	1,358
資本剰余金	1,518	1,518
利益剰余金	11,327	12,071
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,204	14,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△3
評価・換算差額等合計	△1	△3
純資産合計	14,202	14,945
負債純資産合計	39,504	37,849

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年9月21日 至平成27年3月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年9月21日 至平成28年3月20日)
売上高	42,015	43,168
売上原価	33,601	34,599
売上総利益	8,413	8,569
販売費及び一般管理費	7,039	7,263
営業利益	1,373	1,306
営業外収益		
受取手数料	51	46
助成金収入	34	41
その他	35	20
営業外収益合計	121	108
営業外費用		
支払利息	75	66
その他	11	12
営業外費用合計	87	79
経常利益	1,407	1,335
特別利益		
受取損害賠償金	7	8
特別利益合計	7	8
税引前四半期純利益	1,414	1,343
法人税、住民税及び事業税	490	400
法人税等調整額	30	56
法人税等合計	521	456
四半期純利益	893	887

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年9月21日 至平成27年3月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年9月21日 至平成28年3月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,414	1,343
減価償却費	421	431
長期前払費用償却額	5	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△154	△131
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△46	48
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	75	66
売上債権の増減額(△は増加)	6	41
たな卸資産の増減額(△は増加)	△415	△5
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,065	△824
未払消費税等の増減額(△は減少)	50	△217
受取損害賠償金	△7	△8
その他	73	△22
小計	350	719
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△76	△66
法人税等の支払額	△354	△556
損害賠償金の受取額	9	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69	108
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,650	△1,650
定期預金の払戻による収入	1,650	1,650
有形固定資産の取得による支出	△665	△38
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1
その他	13	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652	△10
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△845	△845
配当金の支払額	△143	△143
その他	△75	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65	△1,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△787	△989
現金及び現金同等物の期首残高	6,983	8,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,196	7,233

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。